

特集 3 小児の肥満症

小児にも肥満症は存在する。小児肥満症は“肥満に起因ないし関連する健康障害（医学的異常）を合併するか、その合併が予測される場合で、医学的に肥満を軽減する必要がある状態をいい、疾患単位として取り扱う”と定義されている。小児の肥満判定法や肥満症診断法は成人とは異なるので注意を要する。治療の基本は、食事・運動療法と行動療法の併用である。国民の将来の健康寿命の延伸には、小児肥満症をターゲットとした小児生活習慣病予防健診の法定化が望まれる。

キーワード

小児肥満症, 小児肥満,
小児生活習慣病予防健診



はら みつひこ
原 光彦

和洋女子大学家政学部
健康栄養学科 教授

語句解説

対 特集
談 1

特集
2

特集
3

特集
4

特集
5

特集
6

ホット・
World News

最新
トピックス

徒然なる
ままに。